# 生涯学習通信

## あなたの心に新しい風を……

**「生涯学習」とは、何？**

最近、「生涯学習」ということばをよく耳にすると思います。

「生涯学習」って何と聞かれると、「生涯学習とは、社会教育のこと」「生活していることがすべて生涯学習」とか「年をとって、または、学校を出てから学ぶこと」などさまざまな答えが返ってくると思います。

簡単なことばのようですが、人それぞれにいろいろと解釈される不思議なことばです。

生涯学習の考え方は、一九六五年（昭和四十年）にユネスコ主催の成人教育推進国際委員会において、ポール・ラングランが最初に提唱し、日本ではそれを受けて、いくつかの答申等が出されました。その中に、生涯学習の意味についてこのように表現してあります。

「生涯学習は、各人が自発的意志に基づき必要に応じ、自分に適した手段・方法で、生涯を通して行うものである。」いいかえますと、市民の皆さんが「自分を高め、生活を向上させるために必要とする内容を、自分にあった方法で自分から選んで行う学習」といえるでしょう。

ちを取り巻く環境は、技術の革新・情報化・国際化・高齢化など、今、社会は急激に変化しています。このような変化に対応して生きて行くために、そして、心豊かで充実した人生を送るために、生涯にわたって学習し続けることが必要となって来ています。

「学びたいな」と思ったとき、それが生涯学習のスタートライン。ジャンルは何であれ、まず、始めてみることが大切です。

デザイン：石ノ森章太郎
生涯学習のマスコット“マナビィ”

**生涯学習を推進するために**

☆　都留市生涯学習推進本部

生涯学習の推進は、市民の皆さん一人ひとりが生きがいのある生活を送ることができることを大きなねらいとしています。

そこで、都留市では、都留市の生涯学習に関する施策を総合的かつ効果的に推進するため、市長をする都留市生涯学習推進本部が設置されました。

☆　都留市生涯学習推進会議

生涯学習について、市民の皆さんの声を反映しつつ、一人ひとりの生涯学習を促進・援助して行くための方策を研究協議し、本部に提言等をするため、設置されました。

この会議は、各団体等から、三十人の委員を委嘱し、左記の三つの専門部会に分かれ、それぞれの課題について、研究協議しています。

《専門部会》

・生涯学習調査部会
・生涯学習推進計画策定部会
・生涯学習普及・啓発部会

それぞれの部会において、今年度、検討している内容につきましては、順次紹介します。

**生涯学習普及・啓発部会**

この部会は、皆さんに生涯学習を理解してもらうとともに、生涯学習に取り組みやすくするための方策について検討しています。

今年度は、特に生涯学習の理解を深めていくために、去る七月十四日には、静岡大学より角替教授を招いての「生涯学習を進めるまちづくり講演会」の開催、また、このような広報を通じての理解・啓発、そして、来年には「生涯学習フェスティバル」の開催を予定しています。

―都留市生涯学習推進会議

# 第2回都留市ふれあい全国俳句大会作品募集

**作　品　募　集**

都留市は、天和二年江戸の大火によって家を焼かれた松尾芭蕉が、約半年間旅寓の生活を送り、蕉風俳句への開眼を果たした地であります。

このように、芭蕉と深いかかわりをもつ本市では、市民をはじめ、全国俳句愛好者が、俳句を通して、芭蕉の心にふれるとともに、お互いの心のふれあう場となることを念願して、第2回都留市ふれあい全国俳句大会を開催いたします。

**応募作品の部投句方法**

①「官製はがき」による投句

未発表作品一人二句以内（四季雑詠）を楷書で記入し、住所・氏名（ふりがな）・生年月日・電話番号・大会当日の出欠の有無を明記して送付してください。

②　応募用紙による投句

市の公共施設（市役所・文化会館・各コミュニティセンター）に備え付けの応募用紙に所定の事項（官製はがきでの応募と同様）を明記し、投句箱に投函してください。

①か②のいずれかの方法で応募してください。

**受付期間**

11月1日～30日

**選　者**（五十音順　敬称略）

井沢正江、稲畑汀子、桂信子、金子兜太、川崎展宏、沢木欣一、鷹羽狩行、原裕、広瀬直人、福田甲子雄、古舘曹人

**作品の発表並びに表彰**

・優秀作品には、正賞及び准賞を贈ります。
・大会当日、会場において行います。

**俳句大会**

・期日……平成7年4月30日
・大会当日にも投句作品を募集します。詳しい内容は、後日広報でお知らせします。

**投句宛先・問合先**

上谷一―一―一